

## 私の留学体験記

広島県立高陽東高等学校 2年 橘 茉佑 (たちばな まゆ)

留学期間 令和6年3月2日 ~ 令和6年3月15日 (14日間)

留学先 Tauraroa Area School (ファンガレイ、ニュージーランド)

私が今回の留学で学んだことは、3つあります。

1つ目は、人々の心の温かさです。人々といっても日本にいる家族だけではありません。ここで出会ったホストファミリー、友達、先生。日本の友達、日本の学校、その他多くの人に支えられ今の私がいるのだと思いました。それを強く実感するのは、私が悩んでいる時です。ニュージーランドでの生活は、楽しいことだけではありません。言葉の壁、勉強の壁にあたることがよくありました。でも、そんなときはいつもホストファミリーや現地で出会った友達、先生が傍にいて励ましてくれました。本当の家族みたいに接してくれるホストファミリー、一緒に頑張っていく友達、そして私たちを教えてくれる素晴らしい先生方がいたからこそ私はニュージーランドで生活できました。そして私の実の親もここニュージーランドにいる間にいろいろとメッセージを送ってくれました。私のことを思い、気を使ってくれました。子供の夢や目標を尊重して、いつも応援してくれ、背中を押してくれる素敵な両親です。また、今どうしているのか、勉強はどうなのか、楽しんでいるのか、現地の学校はどうか、日本と異なるところはどこなのかなどと連絡をくれる日本のお友達もたくさんいました。私は多くの人からの愛情を受け、助けられて私が今いるのだと実感しました。

2つ目に、私はここニュージーランドにきて自分に自信が持てるようになりました。日本にいたときはいつも他人の目を気にしながら日々過ごしていました。他人が自分のことをどう思っているのかなどを気にして、手に取れるものも取れずといったことが多々ありました。しかし、ここニュージーランドにきて、自分の意思を伝えることが大事だということを学びました。日本での遠慮や謙遜が海外では通用しないことを知りました。言いたいことを言えず我慢をしているとかえって後から自分自身がしんどくなり、余計に言いづらくなってしまいます。もちろん自分の意見をつきとおすことが一番大事なことでなく、大切なことは自分が思ったことを相手に伝えるということです。

最後に学んだことは、やろうと思ったことはやってみる！ということです。やって後悔するよりやらなくて後悔することは一生後悔します。いつまでも理由をつけて引きこもっては何も起こりません。目標を立てて行動に移して試してみることが大切です。失敗してもいいです。失敗して落ち込んでも、絶対に傍で応援してくれる人はいます。そして励まされて感謝してまた開き直って前へ進んでいくことができます。

今回の留学で、日本の文化、特色、広島のことを自分なりに一生懸命英語を介して説明できたと思います。今まで旅行で海外を訪れたことはあるけど、こんなふうにホームステイや現地の学校に通いながらというのは初めてで驚くことが多かったです。日本とは異なる文化の中で生活し、ホストファミリーや友達と過ごす中で大切なもの、気づけたものがたくさんあります。伝えたいことを上手に伝えることができたかと言われたら分からないけど、完璧ではないからこそ知れることも多く、聞き取れたときの喜びは大きかったです。今私がやりたいことは、色々な国へ行き文化を学び、日本のことを紹介し、自分の将来の夢に向かって行動すること、英語を生業勉強すること、そして日々感謝して一日一日を大切に過ごすことです。この場をかりて、このタウラロア・エリア・スクールの留学に携わった先生方、家族、友達そしてニュージーランドで出会った人々に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。そして、今からまた新たな目標を掲げて日々前進していきます。